

「大学入試英語成績提供システム」初共通 ID 発行申請者は 150 名

2020 年度の大学入試改革により、センター試験は共通テストになります。英語は、センター試験ではなく、外部資格・検定試験の受験結果を入試センターに登録申請し共通 ID をもって出願大学に結果が提供される形に段階的に進んでいく予定です。ただし、その具体的な受験方法やその成績の取り扱いについては、流動的な部分もあり、各資格・検定試験の HP や各大学の HP での確認が必須となります。

2020 年度の英語成績提供システム共通 ID の発行には、本校では 2 年生の 150 名が申請します。今後 1 月には ID が交付され、それぞれが WEB で検定申込（する場合は）していきます。点数登録のチャンスは二回。みなさん！計画的に学習して早めに英検 2 級超の力をつけていきましょう。学習にフイグはありません！

■教育実習生の先輩より在学生へのメッセージ【第 5 弾】

秋の教育実習でがんばっているもう 1 名は、高校時代に野球部の活動で思い切り青春を燃やし尽くした(に達しない)宮入さんです。大学 4 年生までの間に、種々な葛藤や選択・経験を通して多くを学んだ彼の言葉は、今の皆さんが知っておくべきこれからの生き方のヒントとなるでしょう。

金沢学院大 人間健康学部 スポーツ健康学科 4 年 宮入 洸希さん HR 2-3 教科 体育

私は、推薦入試・センター試験・一般入試の 3 種類の試験を受けました。本格的に進路を決めたのは 3 年生の夏(の)大(会)が終わった後(7 月下旬)でした。進路選択をするに当たって教員の道を志し、国立大の公募推薦を受けようと決めました。どう考えても決めるのが遅すぎました。当然受かるはずもなく見事に玉砕しました。無謀でした。今思えば、1,2 年生のときにしっかりと「〇〇大学に行き、～～を学びたい」と明確な目標を定めておけば良かったなとつくづく思います。



推薦を受けた後はセンター試験と一般入試のための受験勉強に全力を注ぎました。毎月、毎週のように模試を受け、その結果に落ち込み、また勉強するというサイクルでした。ですが、推薦入試に全振りしていた期間はほとんど受験勉強をしていなかったのととても苦労しました。少しでもやらないと苦手な部分や忘れていたところが自分でも驚くほど多くなり、絶望しました。特に英語は基礎が出来ていなかったのも、センター試験では見事に撃沈しました。どの試験区分でも英語を必須としているところが多いので、基礎からしっかり固めておいたほうがいいと思います。自分は試験区分をセンター利用と一般入試で受験しました。5 つほどの大学を受けたのですが、英語が足を引っ張り、第 1 志望はおろか第 2、第 3、第 4 志望すら受からず、今の大学のみしか受かりませんでした。選択肢が 1 つしかないのは、とても悔しかったです。とても後悔しました。また、浪人も考えました。しかし、浪人しても必ず第 1 志望のところに受かる保証はない(自分の頑張り次第ですが)のと、自分のやりたいこと、なりたいたいことが決まっている。さらには、大学から奨学金を貰えることが決まっていたので今の大学に決めました。偏差値的には低いところでも、奨学金を受けながら国立大学並みの大学に進学するという選択肢もあります。当然、レベル的には少し低くなるので自分の思い描いているキャンパスライフとは異なることもあり、少なからず葛藤が生まれます。ただ、大学で何を学びたいかが明確であれば入学後もやるべきことに迷うことはありません。様々なところから情報を集めて、悔いのない選択をしてください。

3 年生はいよいよ追い込みをかける時期だと思います。この大変な時期に、同じような仲間と切磋

琢磨して頑張ってください。お互いに励みになると思います。応援しています。